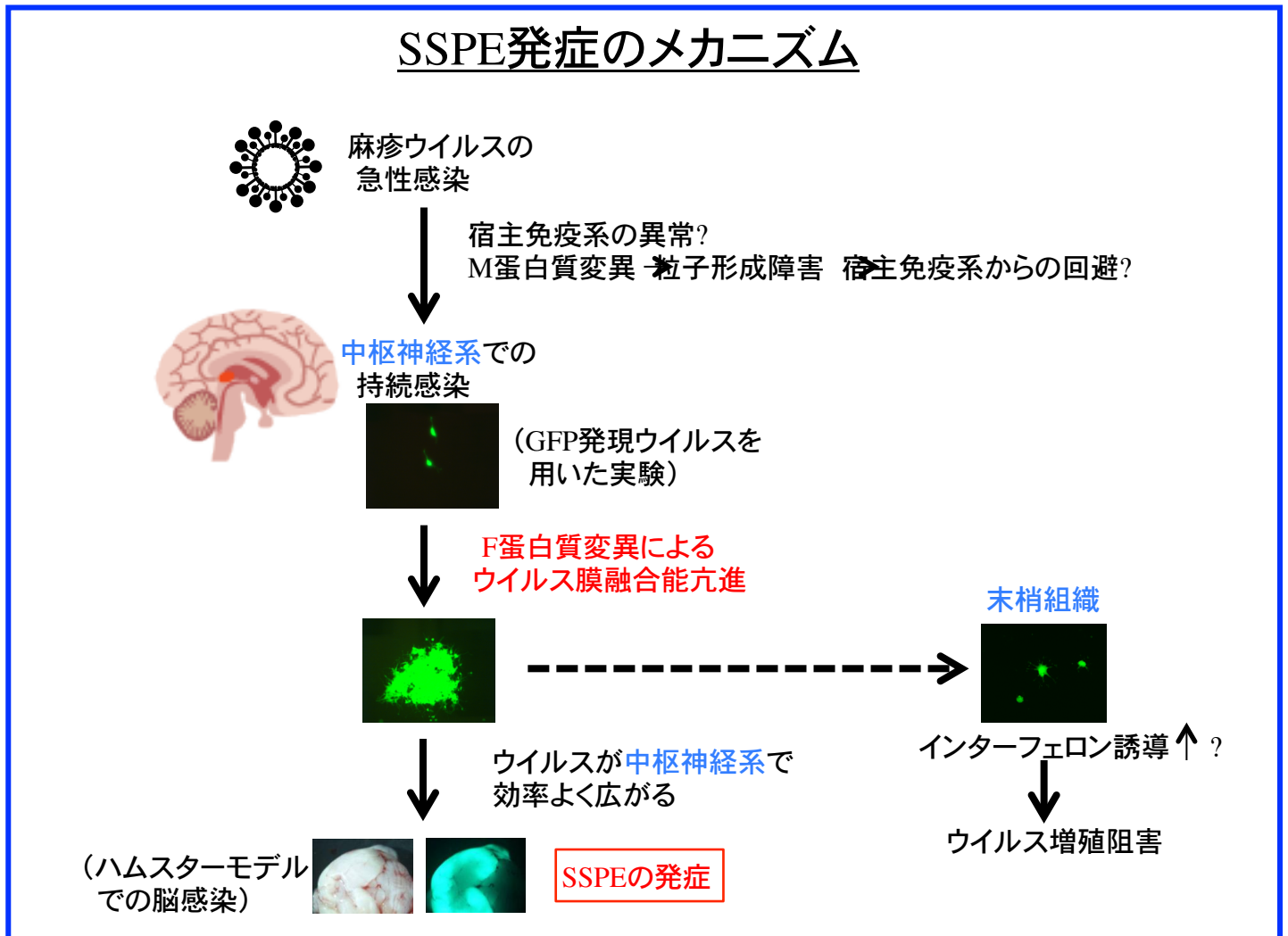


## 麻疹ウイルスの膜融合能亢進による中枢神経系感染

研究分担者:九州大学大学院医学研究院ウイルス学 柳 雄介

### SSPE発症のメカニズム



### 解説

1. SSPE患者において麻疹ウイルスが持続感染している神経細胞にはSLAMやnectin 4のような麻疹ウイルス受容体は発現していない。
2. 普通の臨床分離株と異なり、SSPE患者から分離された麻疹ウイルスにはF蛋白質の細胞外領域に多数の変異が認められる。
3. これらの変異F蛋白質を持つウイルスは膜融合能亢進を示し、受容体を発現していない神経細胞にも感染して効率よく伝播する。
4. 膜融合能の亢進は末梢組織ではウイルス増殖にとって不利に働く。